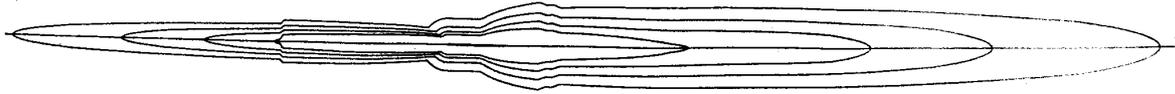


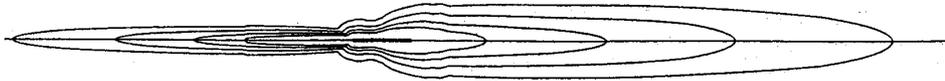
大阪国際空港の在り方について (資料 2)

機種別騒音フットプリントの比較

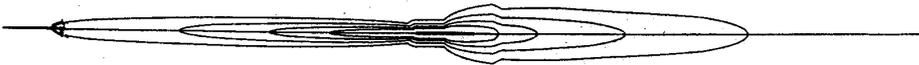
DC-8-61



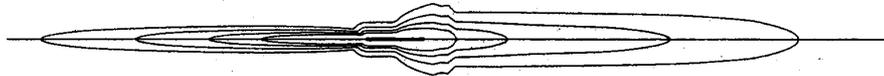
B747(在来型)



B747-400



DC-10-40



B777-200



B767-300



A300-600R



B737-400



A320



MD-90-30



CRJ-100/200



○ フットプリントとは、1機の航空機が1回離着陸した際の騒音値が同一となる点を結んだ線である。
○ 外側から、70、75、80、85dB(A)

大阪国際空港機材制限検討条件

1 前提条件

3発以上の機材の乗り入れを制限する。

2 検討ケース

ケース1 JT枠:250便(現況機材構成) PP枠:120便(SF-340B:60,CRJ200:60)
 ケース2 JT枠:250便(機材制限) PP枠:120便(SF-340B:60,CRJ200:60)
 ケース3 JT枠:225便(機材制限) PP枠:145便(SF-340B:72.5,CRJ200:72.5)
 ケース4 JT枠:200便(機材制限) PP枠:170便(SF-340B:85,CRJ200:85)
 ケース5 JT枠:150便(機材制限) PP枠:220便(SF-340B:110,CRJ200:110)

3 機材構成

平成14年4月ダイヤにおける機材構成を用いた。
 機材制限は、B-747,DC-10をB-777に置き換えた。

4 コンター面積比較

単位:平方キロメートル

WECPNL	平成7年 現況	平成12年 現況	機材制限無し	機材制限有り		
			250枠	250枠	200枠	150枠
70	18.50	20.47	23.46	18.95	16.59	14.17
75	8.98	9.38	10.44	9.20	8.28	7.28
80	4.73	4.85	5.35	4.94	4.46	3.93
85	2.58	2.65	2.92	2.80	2.54	2.25
90	1.46	1.51	1.63	1.62	1.49	1.33
95	0.75	0.78	0.85	0.88	0.79	0.69

大阪国際空港発着制限検討
WECPNLカウンター
(WECPNL 70)

色	ジェット機プロペラ機 機材制限		
	平成12年現在		
赤	250機	120機	無し
青	250機	120機	有り
黄	200機	170機	有り
水色	150機	220機	有り

- カウンターとは、騒音の評価量が同一の値となる点を結んだ線である。
- 機材制限は、3発以上の機種(B747,DC-10)をB-777に置き換えた。
- プロペラ機については、機全てをSF-340B,CRJ200が半数ずつ使用していると仮定した。





大阪国際空港発着制限検討
WECPNLコンター
(WECPNL 75)

	ジェット機	プロペラ機	機材制限
黒	平成12年現況		
赤	250機	120機	無し
青	250機	120機	有り
黄	200機	170機	有り
水色	150機	220機	有り

- コンターとは、騒音の評価量が同一の値となる点を結んだ線である。
- 機材制限は、S発以上の機種(B747,DC-10)をB-777に置き換えた。
- プロペラ機については、機全てをSF-340B,CRJ200が半数ずつ使用していると仮定した。